



認知症を知って みんなで支えよう

TOPIC1

～認知症になっても安心して暮らせる磐田を目指して～

☎福祉課 (1階 プラザ 3階) ☎ 0538-37-4831 FAX 0538-37-6495

認知症は誰にでも 起こりうる脳の病気

認知症は、何らかの原因で脳の動きが悪くなることにより、日常生活に支障がある状態のことをいいます。

認知症は誰にでも起こりうる脳の病気です。高齢化が進むことに伴い、認知症の方は年々増え、現在、磐田市では65歳以上の10人に1人、75歳以上の5人に1人が認知症といわれています。

早期発見、早期受診・診断、早期治療が大事

認知症は早めに症状に合った適切な対応や治療を始めることで、進行が緩やかになることがあり、認知症になっても自分らしく穏やかに暮らすことができます。家族や周りの方で気になることがあったら、かかりつけ医や近くの地域包括支援センターに相談しましょう。

認知症を正しく知り、 みんなで支えよう

誰もが認知症について正しい理解を持ち、認知症の方や家族を支えるためにどうすればいいかを知っていれば「尊厳ある暮らし」を守ることができます。みんなが安心して暮らせる磐田を目指して、自分にできることから始めてみましょう。

認知症早期発見の目安と認知症サイン

家族や周りの方に次のような行動が思い当たりませんか

もの忘れがひどい

- 今切ったばかりなのに電話の相手の名前を忘れる
- 同じことを何度も言う、聞く、する
- しまい忘れや置き忘れが増え、いくつも探し物をしている

判断力・理解力が衰える

- 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- 新しいことが覚えられない
- テレビ番組の内容が理解できなくなった

意欲がなくなる

- 下着を替えず身だしなみを構わなくなった
- 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった

人柄が変わる

- ささいなことで怒りっぽくなった
- 周りへの気遣いがなくなり頑固になった
- 「この頃様子がおかしい」と周囲から言われた

不安感が強い

- 一人になると怖がったり寂しがったりする
- 外出時に持ち物を何度も確かめる
- 「頭が変になった」と本人が訴える

時間場所が分からない

- 約束した日時や場所を間違えるようになった
- 慣れた道でも迷うようになった

おやっ?と思ったら、まずは相談

物忘れや認知症の心配ごとは、お住まいの地域包括支援センターにご相談ください

センター名	北部地域包括支援センター	中部地域包括支援センター	南部地域包括支援センター	豊岡地域包括支援センター	豊田地域包括支援センター	竜洋地域包括支援センター	福田地域包括支援センター
担当地域 (中学校区)	向陽・城山	磐田第一・神明	南部	豊岡	豊田・豊田南	竜洋	福田
ところ	見付2510-4	国府台57-7	上大之郷51	下野部48	森岡150	岡729-1	福田400
電話	0538-36-4865	0538-37-1060	0538-36-8900	0539-63-0500	0538-36-1300	0538-66-9221	0538-58-3242
FAX	0538-36-4603	0538-37-0550	0538-36-8001	0539-63-0505	0538-36-1301	0538-66-9222	0538-58-3243

みんなで支え合い
不安を安心に変えよう



認知症サポーター養成講座講師
認知症対応型通所介護
えいせいデイサービスめぐみ
矢崎絵美子さん

認知症により記憶障害や幻覚・幻聴などさまざまな症状に苦しんでいる方は、いつも不安な気持ちでいます。そんな気持ちを理解し、接してほしいです。そのために認知症について知ることは大切です。認知症を知ることで意識や対応の仕方が変わると思っています。介護をする方は、認知症になった家族を介護しているという事実を周囲に言えず、全てを抱え込んでしまいがちです。迷惑を掛けてしまうなどと思わず、周りに不安や悩みを伝えて力を借りることも必要です。
たくさんの方に見守ってもらうことで、認知症の方も家族も安心して生活ができると思います。みんなで支え合うことで、不安を安心に変えていきたいですね。

認知症 サポーター

認知症の方やその家族を応援します

認知症サポーターは、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の方や家族に対して温かい目で見守る「応援者」です。認知症サポーターは周りの人に認知症の知識を伝える、認知症の方や家族の気持ちを理解するように努める、隣人やまちで働く人として手助けするなど自分のできる範囲で活動します。

認知症について知ろう ～認知症サポーター養成講座～

磐田市では学校や企業、地域などで認知症サポーター養成講座を開催しています。現在市内にはこの講座を受講した 12,387 人（7月14日現在）の認知症サポーターがいます。

職場で



窓口での対応を学びました

職場でも地域でもサポーターとして支えることができるよう、市役所全職員が養成講座を受講しました。

磐田北小学校で初めて小学生向けの養成講座を開催。4年生の児童が認知症について学びました。

学校で



小学生も頼もしいサポーターです

認知症の方への対応 3つの心構え

合言葉は・・・おじいさん



驚かせない



自尊心を
傷つけない



急がせない

さん

認知症の方の気持ちに寄り添い、さりげなく自然に支援

認知症の方は何も分からないのではありません。認知症になって誰よりも不安なもの、苦しいもの、悲しいのも本人です。そんな気持ちに寄り添い、認知症のため認知機能の低下があることを正しく理解し、認知症の方を支える「杖」となり、さりげなく自然に支援することが大切です。



認知症高齢者等 事前登録

情報を共有し早期発見に

認知症などにより、外出した際に自宅へ戻ることができなくなってしまう心配がある高齢者などが、事前に自身の必要情報を登録しておくものです。登録した情報は、市内関係部署、警察署など関係機関が共有し、行方不明時の早期発見に備えます。

見守り オレンジシール



反射材シールになっています

見守りの目印に

磐田市 000

指定の事前登録届をすると、登録番号が入った「見守りオレンジシール」がもらえます。自分の名前が言えなくても、シールに記載されている番号でどなたか確認することができます。靴やサンダル、いつも持ち歩くかばんや杖などに貼ってください。

★事前登録・見守りオレンジシール配布は地域包括支援センターで

いわたホットライン へ登録

行方不明時の捜索協力に

認知症高齢者の方などが行方不明になった際、同報無線放送で捜索の協力を呼び掛けています。放送の内容は「いわたホットライン」で配信しています。行方不明者情報を参考に情報提供など捜索へのご協力をお願いします。



◀いわたホットラインの登録はこちらから。空メールを送信してできます